



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

●社長はいつも孤独

●経営の成功体験しか聞けない

●目の前の仕事に追われる毎日

●指示待ち社員ばかり

●経営の悩みを相談する仲間ができた

●失敗談から勇気とヒントをもらえた

●将来の会社のビジョンができた

●自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒426-0037 静岡市東区東町三丁目16番1号 FAX/054-253-7120 Email/shoyu@icdoyu.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第9回】

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

新たな社内
の取り組みで
ビジョンの
大切さを再認識

コロナ禍となりエンドユーザーの方々への訪問が出来なくなり、PRとサービス内容の充実を図るため、YouTube動画の配信を始めました。動画すら撮ったことのない私と社員が始めましたが、今ではコンテンツの企画や編集もプロジェクトの社員たちでやっています。また、5S委員会や安全衛生委員会、共育委員会、BCP委員会、エコアクション21委員会も立ち上げ、いわゆる製造業務の他に会社を運営する上で必要な活動も、私も含め社員全員で手分けをするようにしました。今までやったことのない役割や業務を始めると、必ず反対ややれない理由を挙げてくる人もいます。この時に、「こういう会社を目指すのだ！」というシンプルで誰もが想像しやすいビジョンで説明できると組織としてまとまりやすいのだと気づき、ビジョンの大切さを再認識しました。

『企業づくり』のビジョンづくりに携わり「私たちは、関わる全ての人々が『成長』と『幸せ』を実感できる企業をつくります」とまとめました。当社の夢として“産業用ブレーキのグローバル・ニッチ・トップメーカーになる”を掲げていますが、会社が目指すものと「関わる全ての人」の筆頭である社員の幸せとがどのように繋がるのか、まだまだ伝えられていないと思います。だから、新しいことをやろうとうすると反対の空気が流れます。日々の業務の中で、私たちが目指すもの、目指す先にあるもの、目指す在り方をメンバーと共有していく私の修行はまだまだ続きます。

梶川 久美子氏（サツマ電機㈱・沼津支部）



「安全でおいしく、楽しみな料理」 を届けつづけ次の世代へ

(有)一味フードサービス (沼津支部)

代表取締役 一見 勝弘氏



太田 喜貴氏

一見 勝弘氏

地域のお弁当屋から始め 給食運営に事業を拡大

一見勝弘氏は、1973年に両親が営んでいた食堂を仕出し工場に切り替え、(有)一味フードサービスを創業。当時27、8歳、その頃は会社の周辺もまだ工場やオフィスが多く、地域内にお弁当の需要があったといえます。その後は折詰弁当やイベント用のお弁当、オードブル等を提供してきました。200人ほどの幼稚園のお弁当を任せられることとなり、組織として安全な食事を提供する構えを作るために1988年に法人化しました。以後、弁当販売とは別に食堂運営の業務を受託する部門を立ち上げ、今日まで弁当販売と運営業務受託の2つの事業を行っています。



会社外観

弁当販売ではメッセージ性のあるお弁当作りや地元食材を使ったお弁当の提供をしています。運営業務受託においては、大手では小回りの利かない幼稚園側の味付け要望、冷凍食品や添加物を使わない指定などの細かな要望を実現することで差別化を行っているそうです。2021年には飲食業生活衛生同業組合の活動を行う中で旭日単光章も受章。現在はご子息が入社しており事業承継を考えているといえます。

地産地消のお弁当は 経営理念に基づいたもの

「私たちは、常に創意工夫をし「安全でおいしく、楽しみな料理」をお客様にお届けし信頼される食の総合企業を目指します」を経営理念に掲げる同社。お弁当は食べるものなので安全が最も大切です。一方で理念の通りおいしくて楽しいというところをいかに創意工夫して提供するかと考えているといいます。弁当「ふじのくに」シリーズでは旬の静岡県産の野菜を優先的に使用し少数精鋭で作っており、今回の逸品「彩食健美」弁当は地産地消弁当料理コンテストで

静岡県知事賞を受賞しました。昨今のコロナ禍ではイベント等開催中止に伴い弁当販売が減少していますが、給食を頼んでいただいているお客様からは引き続きご注文を頂いています。また、お客様と定期的に献立を読む会の実施や、総務関係の方とお話するなど、お客様の意見を吸い上げられるようにしています。

同友会はフランクなのが 良いところ

法人化とともに同友会に入会したため今年で同友会歴34年目、支部長も務めた一見氏。「学んだ経営理念は良い取り組みですし、同友会は先輩が圧をかけないところが良いところだと思いののでその雰囲気が続けば嬉しい」と語ってくれました。

また、同友会で学んで考え方の変化もあったといいます。「以前同友会の先輩から、事業承継時はぼんっと渡されて大変な中進めていったという話を聞き、細かな計画を立ててケアをしていくより、そのほうがお互いよいのではないかと思うようになった」と話す同氏。自社の将来について「課題はあるが、事業承継後、息子が小回りの利く



地産地消弁当料理コンテストの賞状

部分を大切にし、新しく事業を立てていけばよいと思っっている」と語りました。

取材・記事：太田 喜貴氏
(株)キラカ・沼津支部
取材：高野 康一氏
(株)高野部品・沼津支部

(有)一味フードサービス

〒410-0022 沼津市大岡45-13

TEL：055-951-3706

URL：http://www.hitomifood.jp/index.php

創業 1973年

設立 1988年

社員数 35名 (パート含む)

入会年月 1988年12月

事業内容 給食・お弁当の販売事業、食堂の運営等の業務受託事業

会員訪問記

同友会で学んだことは「社員との共有」
確かな現場管理力と設計で地域に根ざした建築設計・施工会社へ

(有)スズキ工房
代表取締役 鈴木 竜一氏（静岡支部）



鈴木 竜一氏

25歳、若くして二代目に

静岡駅から車で15分程の閑静な住宅街、(有)スズキ工房の鈴木竜一氏を訪問しました。(有)スズキ工房は、住宅や店舗の設計・施工、リフォームをメインに、外構工事、解体工事、特注家具の設計・製作

等を業務としています。また、(有)スズキ工房一級建築士事務所として、建築士事務所登録もしています。1981年に鈴木氏の父、峰夫氏がスズキ工房を創業しました。平成元年には法人化し今期で33期目になります。鈴木竜一氏は、大



施工例

学の建築学科を卒業後、大手建築会社に就職し施工管理を経験した後、親戚筋である特注家具の(有)鈴木クラフト工業に入社。その後、父峰夫氏が病床に伏したこともあり、(有)スズキ工房に意向するようになり、父峰夫氏と病床で打合せをしながら、業務を継続してきましたが、父が2002年に56歳という若さで逝去、竜一氏もまた25歳という若さで代表となり会社を引き継ぎました。

母と二人だけの朝礼から採用へ

(有)スズキ工房の代表となった鈴木氏、多くの人からの協力も得て母と二人で業務を続けていきます。2017年には自社事務所を新築。「会社を守っていききたい」という



自身でデザイン・設計された事務所内観



自然素材の塗り壁と自慢の造作建具

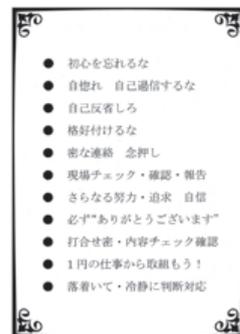
強い思いが湧いてきていたところ、井上齊氏（ワシロック工業(株)・静岡支部）からの紹介があり同友会に入会しました。

「同友会で学んだことは、社員との共有」と語る同氏。当時母と二人体制でしたが、同友会での学びから毎朝の朝礼を始めるようになり、話の食い違いや時間の勘違いなどがなくなり、スムーズに仕事が運ぶようになったそうです。朝礼で自身の考えを伝えることで、自分自身で再確認することにも役立っているといいます。

また、社員の採用についても同友会で相談していたところ、偶然にも求職者が面接に来て採用。毎朝の朝礼も3名となり、今まで身内のみだった会社が新しい進展を遂げました。

経営指針の成文化で更なる飛躍へ

新しく社員も入り、経営指針を創りたいと考えていた鈴木氏は「第17期経営指針を創る会」を受講しました。創る会では、当たり前のようにはやってきた自分の仕事や、どういった仕事なのか、何をやっていきたいのか、最初は全く話せませんでした。自分のことのように聞いてくれ、助言してくれる同期や修了生のおかげで、自



自社の戒め

分らしい経営理念・経営指針が創れたといえます。現在も月に一度スタッフ会議で経営指針の確認を行い、スタッフと共有しています。指針の成文化の過程で、鈴木氏が代表になってから壁に掲示し、見続けていた「自社の戒め」が間違いはなかったと実感し、さらなる自信へ繋がったと話します。今後は、力を入れている現場管理力に加え、設計・デザイン力にも軸をおいて自社の強みにしていきます、会社を成長させたいと語りました。

取材・記事：藤本浩氏

（プリントバリエー(株)・静岡支部）

(有)スズキ工房

〒421-1212 静岡市葵区千代1-3-17

TEL：054-278-1837

URL：https://www.suzuki-koubou.com

創業 1981年 設立 1989年

社員数 3名

入会年月 2018年4月

事業内容 建築設計監理・施工管理、店舗設計・施工、建物の内装・外装工事の請負、その他附帯する一切の業務

会員訪問記

高度なカーセキュリティ技術で
お客様のクルマを守りたい

(有)ゼロ
代表取締役 柳楽 洋一郎氏 (三島支部)



増田 隼人氏 柳楽 洋一郎氏 秋山 敦氏

三島市でカーセキュリティや
カーカスタムに関する自動車用品
を販売する(有)ゼロの代表取締役
柳楽洋一郎氏にお話を伺いました。



2018年に移転した店舗

創業までの経緯

柳楽氏は、クルマのドレスアップやカーカスタムオーディオが流行しだした90年代、ドレスアップ専門店での会社員経験を経て1999年に独立しました。カーカスタマイズ専門店の運営を開始し、その後2002年に法人化。2008年に現在の店舗へ移転しました。

求められるカーセキュリティ

お客様のクルマの盗難被害が目立った2005年、実態とともに現状を業界内で調べたところ、年間6万5千台もの盗難被害があることが分かりました。都市圏では車両盗難が多く、地方では高級ホイールなどのパーツ盗難が多くを占めていることも分かり、愕然としたそうです。「お客様のクルマを守りたい」という動機から、防犯設備士の資格を取得。本格的にカーセキュリティ事業に乗り出しました。

盗難被害の課題解決を提供する
総合サービスとして

カーセキュリティは車種や駐車設備によって提案内容が変わるため、通り一辺倒な売り込みではお

お客様のクルマを守ることにはつながりません。そこで同社では状況、経緯、車種などをヒアリングし、お客様に合ったカーセキュリティ装備を提案しています。特に盗難率が高い車種は犯行手口が巧妙であるため、対抗しうるカーセキュリティを装備しなければなりません。この視点で提案することが使命」と語る柳楽氏。カーセキュリティの専門WEBサイトも立ち上げ、勢力的に情報発信を行っています。現在ではWEBサイトを見た県外のお客様にも来店いただけるようになり、新たな顧客獲得にも成功していると話してくれました。

一方でドライブレコーダーは2年前から需要が高まりましたが、現在は普及が一巡したため落ち着いていくそうです。昨年からは自動車損害会社が保険商品とセットで販売しているため、これからは商流自体が変わると見込んでいます。

高度なカーセキュリティ会社を目指して

クルマがデジタル化してから盗難被害も複雑化していると柳楽氏



ピット内

(有)ゼロ
〒411-0821 三島市平田148-8
TEL：055-981-0001
URL：会社HP：https://www.sps-zero.com
カーセキュリティ専門HP：https://carsecurity-zero.jp/
創業 1999年10月
社員数 1名
入会年月 2012年10月
事業内容 カーセキュリティ、ドライブレコーダー、カーカスタム、ドレスアップ、メンテナンス

取材・記事：増田隼人氏
(株式会社デザイン研究所・三島支部)
取材：秋山敦氏
(株式会社建設・三島支部)



車を整備する柳楽氏

東海財務局静岡財務事務所との意見交換会

企業経営の発展、持続可能な社会の実現にむけて

2月15日(火) 同友会会議室&ZOOM

本年度で6回目となる東海財務局静岡財務事務所との意見交換会を開催しました。静岡財務事務所からは白瀧智彦所長はじめ各課長の皆様、同友会からは井上、箕、松葉代表理事をはじめ副代表理事・政策委員長の総勢17名が参加。昨年に引き続き感染症対策を講じながら同友会会議室とZOOMのハイブリッド形式で開催しました。井上代表理事、白瀧所長の挨拶に続き、相互の取り組みについて意見交換を開始。「コロナ禍における2022年の各社の経営実



6回目の開催となった意見交換会

践」をメインに、SDGsや脱炭素、DX化に関する企業の取り組みを報告しました。松葉代表理事からは「コロナはピンチであるが、様々な支援が拡充された期間でもあった。これまで構想していたことを実現に繋げるチャンスとし、脱炭素・サプライチェーンの見直し・防災減災を念頭において新たな物流拠点を建設中。自社に限らず、お客様の脱炭素にも繋げるため、立地や設備にもこだわり物流の効率化を図る」と報告。

その他にも、行政と連携し地域内循環の実現に向けた「ローカルSDGs」の取り組み、SDGsを自社の課題に落とし込む考え方が共有されました。また、金融機関と良好な関係を築くために経営者などのようにアプローチすればよいかなどの意見も出されました。会員からの実践報告や意見を受け、静岡財務事務所からは持続可能な社会を実現するための金融手法であるサステナブルファイナンスの推進に関する紹介や金融機関の脱炭素に向けた取組事例を紹介いただきました。

最後に箕代表理事より「非常に有意義なディスカッションの時間だった。金融行政を司る静岡財務事務所の皆様と生の意見交換ができる場を来年以降も継続して開催したい」と伝え閉会しました。

ご参加いただいた 静岡財務事務所の皆様

(敬称略・順不同)

静岡財務事務所	氏名
所長	白瀧 智彦氏
総務課長	河瀬 克志氏
理財課長	木下 研吾氏
財務課長	鷯野 修一郎氏
管財課長	山下 裕也氏
企画係長	中澤 見龍氏



中央右側から 白瀧所長、河瀬課長、木下課長

2月イベントロセミナー
なぜ私が20年間同友会を
続けてきたのか

謙虚に学び合う同友会の魅力とは
2月25日(金) 同友会事務局&ZOOM



高田 磨人氏

理事／富士宮支部)が報告
します。ぜひご
参加ください!

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。2月は会場とZOOMのハイブリット形式で開催し、会員・オブザーバー合わせて19名が参加しました。富士市で天ぷら屋を経営する高田磨人氏(天ふじ・富士支部)が登壇。会歴22年目の同氏、20代で同友会に入会し第2期経営指針を創る会を受講。そこで企業にとって羅針盤となる経営指針の大切さに気付いたと言います。支部内でも様々な役割を務めてきた中で「同友会に積極的に参加することが自社の売上にも大きく影響してきた」と振り返りました。バズセッションでは「あなたの会社の役割は何ですか?」をテーマに、自社の地域における役割、関係する人々との関係性を振り返り、地域になくてはならない企業への成長について語り合いました。次回3月18日(金)のイントロセミナーでは箕威頼氏(株アサギリ・県代表

第52回中小企業問題全国研究集会 in 大分

地方発！ 私たち中小企業家が未来を切り拓け！

誰一人取り残されない社会を創ろう！

2月17日(木)～18日(金) ZOOM

今回は地方都市開催のコンパクトモデルをテーマに現地開催を前提に記念講演と全8分科会が企画されました。しかし新型コロナ感染の急拡大を受け、オンライン開催へ変更。全国から471名が集い(静岡より5名参加) 未来に向けた企業づくりを学びました。詳細は中小企業家しんぶん(3月5日号)に掲載されていますのでぜひご一読ください。
本大会に参加した2名の感想をご紹介します。

◆第3分科会参加感想

私は、地域の元気がなければ自社も衰退してしまふ、地域活性化のためにできることがないかと考え、本分科会に参加しました。報告者の中島一嘉氏(株)アズマ・福岡同友会)は、建築屋根板金の仕事をしており、早い時期から太陽光発電の仕事を始めていました。人との出会いから地域で電力会社をやらないかと誘われ、一度は断りましたが、電気料金が地域外に出ていくことは、地域の衰退にもつながるのではと気づき、電力会社を創ることを決心。中島氏の周り、八女市が好きだという73社の協力で電力会社を創業しました。中島氏は利益よりも孫が「こんな田舎を創ってくれてありがとう」と言ってもらえるように、未来への種まきとして活動しているとのことでした。私もすぐには結果が出ないかもしれませんが「地域を元気にしていく」思いを持ち続け、仲間を増やし日々頑張ろうと思えました。



野川 和三氏
(株)野川商店・榛南支部

◆第6分科会参加感想

(株)サンキョウエンビックス代表取締役の浅野浩一氏(岡山同友会)の報告でした。会社の成長により、株の評価額も大幅に変わっており、5代目社長となったことを最後の機会とらえて、それまでオーナーが所持していた株も集約し、今後社長交代時のトラブルをなくすることができるよう、困難な中取り組みました。3代目から歴代幹部社員が社長となり同友会で学びながら会社の仕組みづくりを進めており、3代目が財務、4代目がインフラを整備したので、浅野氏は次世代に続く人づくりを目指しています。問題対応から逃げたり、人ごとにしたりする幹部をおろし、後継者を育てておしているという報告でした。



西躰 亮貴氏
(株)富士山ドリームビレッジ・富士宮支部

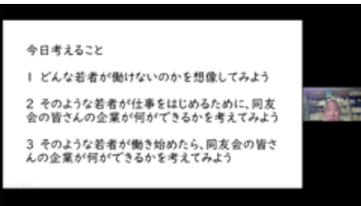
バズでは、次世代社員が社長になりたいと思える会社にする為の仕組みづくりと、社長自身の顔に責任を持ち、志とありたい姿を社員と共有することが大事と話しあいました。会社の在り方、社長の覚悟について深く知ることができるところになりました。

「人を生かす経営」オープン学習会

「うまく働けない」若者たちが少しずつ力を発揮できるように
中小企業経営者として関わること

2月10日(木) ZOOM 参加：20名

人を生かす経営4委員会(経営労働・共同求人・共育・障がい者問題)が合同でオープン学習会を開催。静岡県立大学教授でありNPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡の顧問である津富宏氏(静岡支部会員)を講師に、「働きたくても働けない」若者たちについて理解を深め、若者たちが働く一歩を踏み出すために同友会の会員企業として出来ることは何かを考えました。津富氏は「人と接することへの恐怖心、家庭の問題など、就労に困難を抱える原因は様々で複合的である。本人の好みや意思を尊重し、できることから一緒に取り組むことが大切」と伝えました。ディスカッションでは「彼らを受け入れるためには懐の深い会社になること、社員や経営者自身が理解を深め、相手を信じるのが大事」などの話が交わされました。最後に津富氏より「ネットワークとしての同友会の力を発揮すれば支援の幅は広がる」と今後の同友会活動の進展を期する言葉で閉会となりました。



県広報情報化委員会主催勉強会

Googleマイビジネスが変わった!
無料で自社へのアクセスを増やす方法とは

2月21日(月) ZOOM 参加：34名

「中小企業でも手軽に活用できるWEBマーケティング」をテーマに勉強会を開催しました。自社の情報発信で当たり前に活用されるSNS。富士宮市でIT関連のサービス業を営む田邊元裕氏(南カボスメディアアワークス・富士宮支部)がWebマーケティングツールの1つGoogleビジネスプロフィールの活用方法を話しました。検索エンジンシェアの大半を占めるGoogleが提供する本サービスは基本無料、会社の基本情報を入力することで活用できます。イベント告知、商品紹介、メッセージ機能、アクセス数の把握など無料でできることは多く、Webマーケティングの入り口として手軽に始めることができます。一方で、IT活用には、正しい理解がなければ効果が生まれず、少人数の担当者には負荷が集中するなど見落としがちな落とし穴もあります。参加者は、報告、グループ討論を通じて、ツール活用法と経営者がIT活用への正しい理解を持つ重要性を学びました。



3月・4月

DOYU CALENDAR

3月16日(水)～4月15日(金)

3月16日(水)	志太例会 (18:30 藤枝地区交流センター&ZOOM)
17日(木)	榛南例会 (19:00 ZOOM) 浜松例会 (19:00 ザザシティ浜松中央館&ZOOM) 富士例会 (19:00 富士市交流プラザ&ZOOM)
18日(金)	静岡県労働組合評議会との意見交換会 (13:30 同友会事務局&ZOOM) 県共育委員会 (18:30 ZOOM) 会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
22日(火)	連合静岡との意見交換会 (10:00 同友会事務局&ZOOM) 女性経営者交流会 (18:30 同友会事務局&ZOOM)
23日(水)	全県経営フォーラム実行委員会 (19:00 ZOOM)
24日(木)	「ついに同友会のトップ降臨！」中同協会長 広浜泰久氏による我が経営を語る(県経営労働委員会) (19:00 ZOOM) 県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 中遠例会 (19:00 総合健康福祉社会館(iプラザ)&ZOOM)
28日(月)	三島例会 (19:00 ZOOM)

29日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
30日(水)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM)
4月1日(金)	富士宮支部 合同入社式 (10:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
4日(月)	県共育委員会主催 合同入社式 (9:30 静岡県教育会館)
5日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 未定) 県組織増強委員会 (17:30 ZOOM)
6日(水)	県総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
7日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
8日(金)	富士宮総会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
12日(火)	静岡総会 (18:30 ホテルグランヒルズ静岡・ZOOM 予定)
13日(水)	御殿場総会 (19:00 THEGOTEMBAKAN & ZOOM)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

第1回全県経営フォーラム実行委員会開催

～県下最大の学びの場開催に向け各支部より実行委員が集う～

2月24日(木)

レイアップ御幸町ビル・ZOOM

2022年度全県経営フォーラム開催に向け、第1回実行委員会が開催されました。実行委員会は、実行委員長に鈴木徹氏(株鈴木土建・副代表理事)、副実行委員長に山崎かおり氏(株山崎製作所・副代表理事)、伊藤洋子氏(株シーエーティー・富士宮支部長)、担当代表理事として篠威頼氏(株アサギリ)、そして県理事4名と各支部実行委員で組織されます。今回の実行委員会には30名が参加し、自己紹介から始まり、実行委員会の位置づけ、開催までのスケジュール確認の後、グループ討論にてどのような学びの場としていくか意見交換を行いました。今後、支部の協力も得ながらフォーラム開催に向け協議を進めていきます。ご協力をよろしくお願い致します。

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1060 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
いわた まさし 岩田 雅史	(株)エフエム御殿場 コミュニティFM放送(緊急、災害、市政、文化、生活、市民交流、報道、教育、教養、娯楽等に関する情報の放送)	御殿場	勝又 茂生

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ

口座振替日/2022年4月6日(水)

振替会費/令和4年度上期会費(令和4年4月～令和4年9月)

振替額/県会費30,000円、支部費(下記の通り)の合算額

(伊東・三島・沼津・富士・富士宮・志太・榛南支部 6,000円、御殿場支部 12,000円)

上記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。

なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。

納入代行会社は「SMBCファイナンスサービス(株)」、通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされますのでご注意ください。